Q. 地域の特産品をＰＲするイベントの開催を

A. ぜひやってみたいと考えている

ここを聞きました　石井 聡美

- 駅前複合施設について
- 定住対策について
- 産業振興について

複合施設建設を

石井　駅前複合施設は、高梁市街地の拠点として必要なものだと思う。図書館周辺部の振興計画について具体的に問う。

市長　今後5年間の後期基本計画を踏まえた上で、回遊性の問題を念頭に置いて考えたい。栄町商店街とは昨年から話をしており、行政として一緒にできることを話し合っていきたい。車の誘導や病院との連携も重要な視点だと思っている。

石井　図書館建設について市民の合意形成が不十分に思える。計画の進め方を見直すことはできないか。

政策監　都市のグランドデザインの作成は、ワークショップ等を開催しながら進めてきている。市民にしっかりと情報を提供していくことは行政として必要だと思っている。

高梁市を統一したイベントを

石井　高梁市の各地域を横断した形のイベントを市長が主導して開催できないか。

市長　何か1つきっかけをつくらないと現状が変わらない。そのきっかけ作りのために私からも呼びかけていきたい。

複合施設に続く大屋根がいよいよ形になってきた

平成26年10月から新体制になりました（任期2年）

議長　倉野嗣雄
副議長　川上博司

常任委員会

※◎委員長　○副委員長

総務文教委員会
◎川上修一　○大森一生
妹尾直言　川上博司　長江和幸
石部　誠　石田芳生

産業経済委員会
◎内田大治　○柳井正昭
大月健一　植田二郎　倉野嗣雄
石井聡美

市民生活委員会
◎宮田公人　○宮田好夫
難波英夫　小林重樹　森田仲一
黒川康司　三村靖行

議会運営委員会
◎森田仲一　○宮田好夫
難波英夫　川上博司　宮田公人
川上修一　内田大治

特別委員会

議会広報調査特別委員会
◎宮田公人　○宮田好夫
森田仲一　大森一生　石部　誠
石田芳生　石井聡美

議会活性化特別委員会
◎森田仲一　○宮田好夫
宮田公人　大森一生　石部　誠
石田芳生　石井聡美

高梁地域事務組合議会議員
宮田公人　柳井正昭　倉野嗣雄
内田大治　宮田好夫

高梁市農業委員会委員
（議会推薦）
大月健一　植田二郎

高梁市監査委員
小林重樹

総務文教委員会

「平成26年度高梁市一般会計補正予算（第5号）」

委員　教育費の中の賞賜金について、具体的な使途はどうなるのか。

執行部　県の「頑張る学校応援事業」で、高梁小学校、高梁中学校に100万円の賞賜金を送るものである。県が示しているのは、設備や備品ではなく、教材の開発や先進校の視察、外部講師を招聘するなどに活用することとしている。

委員　社会教育総務費の賃金に130万円の追加をしているが、内容はどのようなものか。

執行部　臥牛山の猿の管理人を6名から10名に増員するための補正である。

産業経済委員会

「平成26年度高梁市一般会計補正予算（第5号）」

委員　都市街路事業費の工事請負費、東西連絡道付替工事費の追加について詳しい説明を求める。

執行部　この内訳はインフレスライドが5000万円、岩盤の露出による追加工事費が1900万円である。

委員　岩盤などは事前の調査でわかるのではないか。事業費の見込みが甘いのではないか。

執行部　この事業は国の制度事業を活用しているもので、県や国のチェックも入っている。事業を進めていけば、予見不可能な場合も当然出てくる。インフレスライドも、後年に出てきたものである。財源は、市民負担が少ないような形で手当てしている。

市民生活委員会

「高梁市教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」

委員　この条例は、4月からスタートする幼保一元化に向けた整備だが、小規模な保育所、幼稚園は今後どのようになるのか。

執行部　改正の主旨は、保育機能の多様化により、市民の選択肢がふえるようにするもので、今あるものについては、現状維持で考えている。

「高梁市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」

委員　学童保育に関わる条例改正だが、どのように変更になるのか。

執行部　具体的には対象者が小学生となり、指導員は2人体制以上と規定されている。